

講義コード	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員	開講期
科目名	マクロ経済学基礎演習					第2期
履修前条件					備考	
授業の目的	この演習では、マクロ経済学基礎の講義内容を正しく理解し、自らの理解度を確認することを目的として、マクロ経済学基礎の講義の進み方に合わせて練習問題を解く時間を与え、解説を行う。演習であるので、出席するだけでなく、演習時間に与えられる課題に取り組むことが必要である。特に教科書の章末問題を、自らの力で解けるようになることが演習の重要な目的である。					
到達目標	この演習では、マクロ経済学基礎の講義内容を理解し、練習問題を解く力をつけることができる。					
授業外学修内容・授業外学修時間数	授業外学修時間は、最低でも15時間以上必要である。毎回の演習前に講義内容を復習し、教科書の章末問題に目を通しておくこと。					
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>【第1回】 演習のガイダンス</li> <li>【第2回】 第8章 国民所得の測定1</li> <li>【第3回】 第8章 国民所得の測定2</li> <li>【第4回】 第9章 生計費の測定1</li> <li>【第5回】 第9章 生計費の測定2</li> <li>【第6回】 第10章 生産と成長1</li> <li>【第7回】 第10章 生産と成長2</li> <li>【第8回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム1</li> <li>【第9回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム2</li> <li>【第10回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム3</li> <li>【第11回】 第11章 貯蓄、投資と金融システム4</li> <li>【第12回】 第12章 総需要と総供給1</li> <li>【第13回】 第12章 総需要と総供給2</li> <li>【第14回】 第12章 総需要と総供給3</li> <li>【第15回】 まとめ</li> </ul>					
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢（70%）と提出課題（30%）によって評価する。					
フィードバックの内容	リアクションペーパーに対するフィードバックは、翌週の講義内やポータルサイトにて行う。					
教科書	『マンキュー入門経済学（第2版）』N. グレゴリー・マンキュー（東洋経済新報社）2014年					
指定図書	『マンキューマクロ経済学（第3版）1 入門篇』N. グレゴリー・マンキュー（東洋経済新報社）2011年、『スティグリッツ入門経済学第4版』ジョセフ・E・スティグリッツ カール・E・ウォルシュ（東洋経済新報社）2012年					
参考書	『スティグリッツマクロ経済学第4版』ジョセフ・E・スティグリッツ カール・E・ウォルシュ（東洋経済新報社）2014年、『経済学・入門第3版』塩澤修平（有斐閣）2013年、『マクロ経済学・入門第4版』福田慎一・照山博司（有斐閣）2011年					
教員からのお知らせ	教科書とマクロ経済学基礎の授業資料を必ず持ってくる。演習用の教材・資料および連絡事項を、学内のポータルサイトを利用して掲示する場合がありますので、担当者の指示に従うこと。					
オフィスアワーその他	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付ける。					